



丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く、みんなも輝く ～

令和元年6月28日(金) No. 4

横浜市立丸山台小学校長 新井 篤志

お互い様の関係を大切に

校長 新井 篤志

梅雨入りし、紫陽花が雨と似合う候となりました。最近、紫陽花もかなりの種類があることを知り、何気なく見ていましたが、じっくり鑑賞してみたくまりました。

そんな中、2泊3日で6年生の赤城・日光宿泊体験学習に行ってきました。3日間とも天気に恵まれ、予定していた活動がすべてできました。私にとって、日光が過去2年間雨だったのが、初めて晴天となり、華厳の滝をはじめ山々の緑を堪能し、東照宮もじっくりと子どもたちと見学することができました。

6年生の姿を見ていると、さすがに最高学年だと感じるものが、たくさんありました。リーダー会議で伝えたことがどのグループも全員に伝わっており、体験活動やウォークラリー、キャンプファイヤーをはじめとしたレクリエーション、野外炊事など、どれも一人ひとりが自分の役割を意識している様子が伺えました。自分のことだけでなく友達の活動にも自然と力を貸す姿が多く見られました。自分がしてもらったら、今度は他の人のために自分が力を貸すというお互い様の雰囲気がとても感じられて、あたたかな気持ちになりました。

その2日後、地域子どもの安全対策協議会が開かれました。PTAの校外委員の皆様がきめ細かく準備をしていただきました。会議には、自治会、区役所、土木事務所、港南警察署などの代表の方が参加して、交通事故防止や防犯の面から丸山台のまちの安全を守るための対策を話し合いました。こうした会議に出席すると、あらためて子どもたちの安全のために、家庭や学校以外にも多くの方々が協力していただいていることに気付かされます。こちらからの要望に対しては、区役所は学区の防犯マップづくりや多くの人に子どもたちの見守り活動に参加してもらえるような働きかけを、土木事務所は公園の樹木のせん定や、私たちが普段気付かないような道路上の安全対策を提案してくださいました。また、港南警察署からは車の取り締まりの現状や不審者への迅速に対応するための対策を提案がありました。会議を通して私たちの要望は確実に実現されていることがわかります。

しかし、私たちは要望を出すことに意識が向いているために、実際に子どもたちの安全のために取り組んでいただいたことに対する感謝の気持ちを伝えることを忘れてはならないと思います。実際に行ったことの結果について聞かせてほしいとの話がありました。成果があったことは返してあげることがより子どもたちの安全につながると考えます。これは6年生の姿に見られたように、お互い様の気持ちを大切にしなければならないと思います。